



2023 年度デジタル田園都市国家構想交付金に係る実績等について

※全て地方創生推進タイプ（横展開型）

採択年度	計画期間 年数	総合戦略 2023-2027 における基本目標	事業名	ページ
2021	5	基本目標 3 しごとづくり	未来技術を活用した新たな地域社会創出プロジェクト	1
2021	5	基本目標 3 しごとづくり	先端技術を活用したモビリティ社会実現プロジェクト	3
2021	5	基本目標 3 しごとづくり	スタートアップ等によるイノベーション推進・競争力向上事業	5
2021	5	基本目標 4 魅力づくり	「ツウ」な魅力発信による誘客向上・地域活性化プロジェクト	7
2022	5	基本目標 3 しごとづくり	イノベーション創出による農林水産業の生産力強化と需要拡大に向けた人材育成事業	9
2022	5	基本目標 6 活力ある地域づくり	都市と地域のベストマッチングによる地域力向上プロジェクト	11
2023	3	基本目標 2 人の流れづくり 基本目標 3 しごとづくり	スタートアップ・エコシステム形成促進プロジェクト	13
2023	3	基本目標 3 しごとづくり	愛知の産業を支える中小企業の企業力強化プロジェクト	15
2023	3	基本目標 3 しごとづくり	外国企業誘致促進によるビジネスイノベーション加速化事業	17
2023	3	基本目標 3 しごとづくり	あいちの農山漁村で育まれた地域資源である伝統野菜を活かした地域活力創出プロジェクト	19
2023	3	基本目標 6 活力ある地域づくり	東三河スポーツツーリズム ブランド力強化プロジェクト	20

【未来技術を活用した新たな地域社会創出プロジェクト】

申請者	愛知県	初回採 択回	令和3年度第1回募集
事業計 画期間	R3-R7年度	R5事業費 (実績)	101,882,737円
事業タイ プ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分 野	ローカルイノベーション分野
目的 (効 果)	今まで行ってきた最先端技術の実証実験などを高度化させ、技術の導入・普及に向けたより細やかな導入支援を行うとともに、技術の他分野への活用など、最先端技術活用の裾野を広げ、より多くのサービスを展開することにより、住民生活に支障のない、サービスの導入を目指す。		
事業概 要・主な経 費 ※経費内 訳はR5年 度事業費	<p>○各分野（移動・物流・エネルギーなど）の実装に向けたビジネスモデルを構築し、スーパーシティを推進する。（委託料、需用費等）18,329,300円</p> <p>○介護・リハビリ支援ロボットや無人飛行ロボット、サービスロボットの活用や社会実装に向けた支援を行う。（委託料）49,964,497円</p> <p>○デジタル技術の活用を推進できる自社内人材の育成を支援する。（委託料）33,588,940円</p>	 (無人飛行ロボットの活用)	 (サービスロボットの活用)
実施体 体制	<p>○スーパーシティの推進（導入可能性調査及びビジネスモデルの構築等について、コンサルティング事業者（PwCコンサルティング合同会社、株式会社日建設計総合研究所名古屋オフィス）に委託）</p> <p>○先端技術の導入・普及促進（介護・リハビリ支援ロボット：学校法人藤田学園 藤田医科大学に委託、無人飛行ロボット：名古屋鉄道株式会社に委託、サービスロボット：株式会社電通ライブに委託）</p> <p>○導入・普及に向けた環境整備（有限責任監査法人トーマツ、株式会社ネットラーニングに委託）</p>		
現況・課 題	<p>○スーパーシティの推進 導入可能性調査及びビジネスモデルの構築等を実施している。</p> <p>○先端技術の導入・普及促進 介護・リハビリ支援ロボットについては、社会実装を目指して相談窓口を開設し、ロボットの実証評価や利用想定施設等への提案などを行ったが、より多くの現場で活用される多様なロボットの開発・実用化を支援するためには、ロボットの利用側の意見を深く反映していくことが必要である。</p> <p>○導入・普及に向けた環境整備 中小企業にデジタルツールの導入サポートやツール活用による現場改善の提案等のコンサルティングを実施することで、モデルケースを創出し、県内企業へ横展開を図っている。 事業終了後、デジタルツールの使用を中止してしまい、定着に結びつかない企業が見られた。また、参加した企業から、実証期間をもう少し長くしてほしい旨要望があった。</p>		

<p>阻害要因の分析・今後の対応</p>	<p>○スーパーシティの推進 民間主導による自立的なプロジェクトの推進のためには事業性・採算性のあるビジネスモデルの構築が必要であるため、引き続きサービスの導入を目指し、各種調査等を実施する。</p> <p>○先端技術の導入・普及促進 専門のコーディネーターが窓口となり、開発側と利用側の双方が協力し、医療・介護・福祉の現場の現状把握と課題を分析することにより新たなニーズを発掘し、ロボットの開発・実用化を支援していく。</p> <p>○導入・普及に向けた環境整備 ツールの選定の際、丁寧なヒアリングを実施することで、実証企業と導入ツールのミスマッチの軽減を目指す。 また、実証時期をより長く設定することで、効果的な成果の創出に繋げる。</p>
<p>関連URL</p>	<p>(スーパーシティの推進) https://www.pref.aichi.jp/site/supercity/ (先端技術の導入・普及促進) https://www.fujita-hu.ac.jp/news/j93sdv000000jt85.html https://www.pref.aichi.jp/press-release/arx2023-hisaya-sakae.html (導入・普及に向けた環境整備) https://www.pref.aichi.jp/press-release/aichi-pref-iot/model-verification2023.html#result2023 (第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>

KPI		事業 開始前	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	累計
			増加分	増加分	増加分	増加分	増加分	
「介護・リハビリ支援ロボット」「サービスロボット」の各分野での導入件数（件）	計画	0	5	5	6	7	7	30
	実績		9	6	5	-	-	20
スーパーシティにおけるビジネスモデルの作成数（件）	計画	0	0	2	3	3	3	11
	実績		1	3	7	-	-	11
デジタル人材育成研修会の参加人数（人）	計画	0	160	280	280	300	300	1,320
	実績		252	215	184	-	-	651
本事業を通じた5Gワンストップ窓口相談件数（件）	計画	0	50	50	50	0	0	150
	実績		104	9	5	-	-	118


【先端技術を活用したモビリティ社会実現プロジェクト】

申請者	愛知県	初回採 択回	令和3年度第1回募集
事業計 画期間	R3-R7年度	R5事業費 (実績)	185,491,800円
事業タイ プ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分 野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	自動運転及びMaaSの実装を図り、より快適で効率的な社会交通システムの構築が可能になるとともに、自動運転や、交通に係る技術連携を行うことによる技術力向上により、本県の自動車産業等の国際競争力向上が図られる。また、移動における効率的な仕組みが整うことにより、混雑回避が可能になるなど、「新しい生活様式」に対応した社会を実現することができる。		
事業概 要・主な経 費 ※経費内 訳はR5年 度事業費	<p>○次世代交通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル路線での調査の成果の展開による、公共交通の効率化・活性化（委託料等）5,704,580円 ・MaaSの運営手法の確立（委託料等）51,988,970円 <p>○自動運転社会実装推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転の定期運行のほか、交通事業者等が再現可能なビジネスモデル確立を目指す実証実験の実施（委託費）123,528,270円 ・展示会への出展支援等の企業間連携及び販路拡大の支援（委託費）4,269,980円 		
実施体 制	<p>○次世代交通システムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル路線での調査の成果の展開による、公共交通の効率化・活性化（公益財団法人 豊田都市交通研究所、株式会社国際開発コンサルタント名古屋支店に委託） ・MaaSの運営手法の確立（トヨタファイナンシャルサービス株式会社に委託） <p>○自動運転社会実装推進（愛知県、NTTドコモ等）</p>		
現況・課 題	<p>○次世代交通システムの構築</p> <p>実証実験後も、活用したMaaSアプリ「my route」の基本機能は継続して提供されている。また、本実証実験で導入したサービスについても、一部のサービスを除き、引き続きサービスが提供され、事業者による自立的運営に移行している。</p> <p>○自動運転社会実装推進</p> <p>自動運転の社会実装を加速させていくためには、車速の向上や信号認識・右左折・車線変更の自動化など全国的にも実現されていないような高度な自動走行技術を早期に確立することが必要。</p>		
阻害要 因の分 析・今後 の対応	<p>○次世代交通システムの構築</p> <p>今後は、県として、さらなるサービスの拡充や、他地域への展開が図られるようMaaS推進会議などのネットワークを活かし、情報提供や橋渡し役を担っていく。</p> <p>○自動運転社会実装推進</p> <p>名古屋市内の都市部において、信号や車線が多く、法定速度域での車速が求められる幹線道路を含む走行難易度の高い経路で長期間の定期運行を行い、技術的な知見を積み重ね、走行技術を向上することで実装課題の解決を図っていく。</p>		

関連URL	(自動運転社会実装) https://www.autonomous-car.pref.aichi.jp/
	https://www.pref.aichi.jp/site/jidounten/
	(第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html

KPI		事業 開始前	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	累計
			増加分	増加分	増加分	増加分	増加分	
M a a S実装に向けた連携者数 (件)	計画	0	10	5	5	0	0	20
	実績		29	6	19	-	-	54
自動運転の社会実装件数 (件)	計画	0	0	1	5	5	5	16
	実績		0	1	1	-	-	2
自動運転実証実験件数 (件)	計画	0	8	9	10	15	18	60
	実績		8	10	17	-	-	35
地域公共交通計画 (市町村)	計画	30	1	2	2	0	0	5
	実績		2	0	8	-	-	10

【スタートアップ等によるイノベーション推進・競争力向上事業】

申請者	愛知県	初回採 択回	令和3年度第1回募集
事業計 画期間	R3-R7年度	R5事業費 (実績)	186,168,100円
事業タイ プ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分 野	ローカルイノベーション分野
目的 (効 果)	本県が持つモノづくりを始めとした既存の産業の圧倒的な集積と新しい技術やアイデアを持つスタートアップが結び付き、さらに地域の大学、行政、金融などの支援機関が参加するとともに、海外の先進的な機関の知見を共有することで、革新的なスタートアップ・エコシステムを創出し、グローバル時代においても存在感・競争力を持ち続けられるよう、我が国の経済をけん引する。		
事業概 要・主な経 費 ※経費内 訳はR5年 度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートアップ・オープンイノベーション支援 ・アントレプレナー創出プログラムの実施（委託料）7,096,900円 ・スタートアップの成長支援（委託料）144,034,000円 ・スタートアップの資金調達支援（委託料）8,197,200円 ○航空宇宙産業支援 航空機の生産性向上や受注獲得等に向けた支援を実施（負担金）26,840,000円 		
実施体 制	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートアップ・オープンイノベーション支援 ・アントレプレナー創出プログラム（STATION Ai株式会社に委託） ・スタートアップの成長支援（500 Startups Incubator, L.L.C.に委託） ○航空宇宙産業支援 ・展示会・商談会への出展支援（パリエアショー2023：株式会社新東通信、エアロマート名古屋2023：ACCORD株式会社に委託） 		
現況・課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップの成長支援 <p>スタートアップのアクセラレーションやビジネスマッチングについては資金調達の成功や顧客の獲得、PoC契約の締結など成果は出ている。一方で参加スタートアップごとに成果にばらつきがある。</p>		
阻害要 因の分 析・今後 の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップの成長支援 <p>ビジネスマッチングについてあらかじめ事業会社のニーズを把握することにより、ユースケースを作成し、それをもとにマッチング支援を行う。また、ユースケースを蓄積していくことでオープンイノベーションに関する知見を深め、今後の支援を効果的なものにする。</p>		
関連URL	<p>（スタートアップ・オープンイノベーション支援） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaigairenkei-suishin/ https://www.aichi-startup.jp/packages/ （航空宇宙産業支援） https://aichi-nagoya-aerospace.jp （第三者評価） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>		

KPI		事業 開始前	R3年度 増加分	R4年度 増加分	R5年度 増加分	R6年度 増加分	R7年度 増加分	累計
ベンチャーキャピタルや金融機関等による投資・ 融資、事業会社との取引・提携開始件数 (件)	計画	0	10	10	10	5	5	40
	実績		6	13	9	-	-	28
世界トップクラスのアクセラレーター事業者による 支援プログラムにおける応募スタートアップ数 (件)	計画	0	100	100	100	100	100	500
	実績		194	139	106	-	-	439
超短期型アントレプレナー創出プログラムの参加 者数 (人)	計画	0	30	30	30	0	0	90
	実績		37	30	30	-	-	97
専門家派遣等による生産性向上・コスト国際 競争力強化企業数 (件)	計画	0	20	20	25	0	0	65
	実績		20	62	0	-	-	82

【「ツウ」な魅力発信による誘客向上・地域活性化プロジェクト】

申請者	愛知県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	R5事業費(実績)	155,718,012円
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的(効果)	今まで行ってきた最先端技術の実証実験などを高度化させ、技術の導入・普及に向けたより細やかな導入支援を行うとともに、技術の他分野への活用など、最先端技術活用の裾野を広げ、より多くのサービスを展開することにより、住民生活に支障のない、サービスの導入を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR5年度事業費	<p>○「ツウ」な愛知発信による誘客及び魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光関連事業者を巻き込んだ観光プログラムの造成を促進(委託料) 8,729,380円 ・陶芸の魅力発信(委託料、役員費、事務費) 1,434,392円 ・医療ツーリズムの推進(委託料、報償費、事務費) 9,904,240円 <p>○ジブリパーク周遊観光におけるPR・プロモーション等実施(「ジブリパークのある愛知」をイメージしたキービジュアルや観光動画によるPR・プロモーション等)(委託料) 135,650,000円</p>		
実施体制	<p>○「ツウ」な愛知発信による誘客及び魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光関連事業者を巻き込んだ観光プログラムの造成を促進(株式会社リクルートに委託) ・陶芸の魅力発信(プロジェクトマップイベント開催をNODEに委託、こま犬ガイド育成を株式会社尾張東部放送に委託、株式会社カトービジネスから消耗品購入) ・ポータルサイト「愛知の医療ツーリズムナビ」を作成により、医療ツーリズムを実施する県内医療機関の情報を発信(株式会社ピコ・ナレッジにサイト作成及び広告を委託) <p>○ジブリパーク周遊観光におけるPR・プロモーション等実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジブリパーク周遊観光におけるPR・プロモーション等(株式会社ブギウギエンタテインメント及び株式会社JR東海エージェンシーに委託) 		
現況・課題	<p>○「ツウ」な愛知発信による誘客及び魅力向上</p> <p>R5年度中に観光プログラム9件について有識者によるシナリオ化を実施し、そのうち3コンテンツ、令和6年度に追加で2コンテンツがOTAの販売につながったが、売れ続けるための持続性が課題である。</p> <p>こま犬市内展示とプロジェクトマップについては、瀬戸市の観光課と連携し「陶祖まつり」と同日開催としたことで、若年層の来場者を多く獲得できた。ただし、市内展示の会場が大人数が行きかう会場であったためケース内展示にせざるを得ず、美術館で見るのとあまり変わらない感覚での鑑賞機会提供となってしまった。</p> <p>こま犬ガイド育成については、育成レッスン全日に参加できる者が少なく、結果として育成人数が想定よりも少数になってしまった。ガイドツアーについては、瀬戸市内で開催される「せとものまつり」や市内音楽団体の発表日と同日に実施することで普段はやきものに関心の薄い若年層に陶製狛犬の魅力を発信することができた。</p> <p>医療ツーリズムについては、コロナ前と比較して、受入れ外国人患者数は復調傾向にあるものの、受入れ医療機関数は戻ってきていない状況にある。</p> <p>○ジブリパーク周遊観光におけるPR・プロモーション等実施</p> <p>R5年度中にジブリパークチケット購入者向け特設サイトにて32件の観光プログラムと4件のジブリパーク発着モビリティサービス&発着プランを紹介したが、既存プログラムの販売促進や新規プログラムの造成促進が課題である。</p>		



© Studio Ghibli

<p>阻害要因の分析・今後の対応</p>	<p>○「ツウ」な愛知発信による誘客及び魅力向上 観光プログラムについては、他事業と連携し、シナリオ化を実施した観光プログラムの情報提供を行い、販売促進を図る。</p> <p>こま犬市内展示とプロジェクションマッピングについては、大人数の来場と作品の安全確保のバランスをさらに考慮し、最適な展示方法を考案する。</p> <p>こま犬ガイド育成については若年層への発信を狙い、小中学生個人での育成に重点を置いたが、親子ペアガイド育成やガイドグループなど、育成単位を見直していく。</p> <p>医療ツーリズムの推進に関しては、医療機関において、コロナの影響を受けて外国人患者の受入れが一時的に中断したこともあり、現状、再度受入れ体制を構築している状況にある。空港機能の回復により海外との往来が戻りつつあるので、引き続き、愛知県としては、地域医療に影響を及ぼさない範囲で、意欲的な医療機関のPRに努めていく。</p> <p>○ジブリパーク周遊観光におけるPR・プロモーション等実施 引き続きジブリパークチケット購入者のデータ分析を行い、運輸機関や宿泊施設等の民間事業者に提供することで、周遊きっぷや宿泊プランなど観光プログラムの造成に役立ててもらおうとともに、チケット購入者へのメール広告配信や、「ジブリパークのある愛知」をイメージした観光動画やパンフレットを活用し、ジブリ作品ファンへのPRを積極的に行っていく。</p>
<p>関連URL</p>	<p>(「ツウ」な愛知発信による誘客及び魅力向上)</p> <p>https://medicaltourism.pref.aichi.jp https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2021/special/uchisoto/index.html https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/2023/main/index04.html https://www.youtube.com/watch?v=hloq1QuBQLQ (ジブリパーク周遊観光におけるPR・プロモーション等実施) https://l-tike.com/bw-ticket/gp-aichi/ (第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>

KPI		事業 開始前	R3年度 増加分	R4年度 増加分	R5年度 増加分	R6年度 増加分	R7年度 増加分	累計
本県の延べ宿泊者数（人泊）	計画	19,337,740	165,565	165,565	165,565	82,782.5	82,782.5	662,260
	実績		▲ 7,995,270	▲ 3,526,190	▲ 834,800	-	-	▲ 12,356,260
本県における観光消費額単価（円）	計画	7,254	269	269	269	554.5	554.5	1,916
	実績		▲ 1,882	219	2,753	-	-	1,090
陶磁美術館本館来館者及びこま犬関連イベントの参加・観覧者数（人）	計画	33,000	2,000	6,000	2,000	-	2,520	12,520
	実績		8,598	4,016	-35,985	-	-	-23,371
外国人患者受け入れ人数（人）	計画	1,099	-500	500	500	500	500	1,500
	実績		-1,085	112	416	-	-	-557

【イノベーション創出による農林水産業の生産力強化と需要拡大に向けた人材育成事業】


申請者	愛知県	初回採 択回	令和4年度第1回募集
事業計 画期間	R4-R8年度	R5事業費 (実績)	178,578,760円
事業タイ プ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分 野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	スタートアップ企業等の新しいアイデアや技術を活用したイノベーション創出による生産力の強化と輸出拡大・地産地消の取組による県産農林水産物の需要拡大を両軸として、本県農林水産業の持続的な発展と地域の活性化に向けた人材の育成を進めていく。		
事業概 要・主な経 費 ※経費内 訳はR5年 度事業費	<p>○「あいち農業イノベーション研究会」を推進母体として、産学官連携による農業イノベーション創出に取り組む。 (委託料、事務費、研修費、研究開発費) 139,312,301円</p> <p>○輸出拡大に向けた産地間連携による販売戦略を作成するとともに、国内で開催される農産物・食品の展示会に本県ブースを出展し、産地が海外バイヤーと商談する機会を提供する。(委託料、事務費) 5,014,000円</p> <p>○SDGsに貢献する取組として地産地消のデジタルプロモーションを実施するなど、県産農林水産物の知名度向上に取り組み地産地消を推進する。(委託料、負担金、事務費) 34,252,459円</p>		
実施体 制	<p>○農業イノベーションの創出（共同研究開発について(株)誠和 始め16社に委託）</p> <p>○農林水産物の輸出拡大（株式会社エイチ・アイ・エス中部事業部に委託）</p> <p>○地産地消の推進（愛知県または生産者団体等と組織する協議会により実施）</p>		
現況・課 題	<p>〔農業イノベ〕 R4にSU等と共同で研究開発に取り組む課題を18選定し、R5から本格的に研究開発及び成果の社会実装に向けた取組を開始。これまでに「農業用アシストスーツ」は農業者向けのテスト販売を開始、その他にも8課題でアプリケーションや機器などの試作品を開発し現地での実証に着手している。</p> <p>〔輸出拡大〕 輸出課題に対して県内産地で連携して対応するため、R4に県内主要産地等で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、R5に「愛知県輸出販売戦略」への提言をまとめた。今後は提言の具体化を図る。オンライン商談は、R4は10事業者、R5は11事業者が参加し、オンラインならでの商談手法を習得するとともに、実際に海外バイヤーとの商談を行った。今後も、輸出意向はあるが経験が少ない事業者の支援を継続して実施する。</p> <p>〔地産地消〕 地産地消に対する県民の実践度を図る「県産農林水産物等を優先して購入したい県民の割合」は18.6%となり、事業実施前の13.3%（2021年度）から大きく上昇した（2023年度県政世論調査）。しかし、年代別では50代をピークに若い世代ほど低い傾向がある。今後の消費活動の中心となる層であり、子育て等の家庭消費を通じた次世代への波及効果も期待できる働き盛りや若い世代に訴求し、地産地消の実践に結び付ける必要がある。</p>		



阻害要因の分析・今後の対応	〔農業イノベ〕引き続き産官学連携による研究開発及び成果の社会実装を目指す。 〔輸出拡大〕オンライン商談での商談成約件数は、R4は34件中3件、R5は37件中2件であった。 商談成約に向けて、参加事業者に対する事前研修によるアピール手法等の習得を支援する。 〔地産地消〕働き盛りや若い世代に訴求しやすいデジタルプロモーションを実施するなど、県産農林水産物の知名度向上に取り組む。
関連URL	(農業イノベーションの創出) https://aichi-agri.jp/ (地産地消の推進) https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/iitomoaichi/ (第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html


KPI		事業 開始前	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	累計
			増加分	増加分	増加分	増加分	増加分	
愛知県農業総合試験場とスタートアップ等による共同研究実施件数(件)	計画	10	2	6	6	6	6	26
	実績		6	16	-	-	-	22
新技術を活用したビジネスモデルの創出件数(件)	計画	0	0	0	6	6	6	18
	実績		0	-	-	-	-	0
農林水産物等を購入する際に愛知県産を優先して購入する割合(%)	計画	13.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	11.8
	実績		5.3	-	-	-	-	5
オンライン商談での商談成約率(%)	計画	0	3	3	4	4	4	18
	実績		11.8	-3.3	-	-	-	8.5

【都市と地域のベストマッチングによる地域力向上プロジェクト】

申請者	愛知県	初回採 択回	令和4年度第1回募集
事業計 画期間	R4-R8年度	R5事業費 (実績)	149,681,208円
事業タイ プ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分 野	地方への人の流れ分野
目的 (効 果)	<p>本地域のもつ、バランスの取れた産業構造、豊かな自然、便利な交通アクセスを有する地域の強みを最大限に生かして、東京圏、大阪圏を含む大都市への住民に対してベストマッチングな魅力を提供することで「ひと・しごと」を呼び寄せ、中京大都市圏の「東の拠点」として、また、愛知三島の文化的な強みを生かした特色ある地域として、全国・世界とつながる魅力的な地域を目指す。</p>		
事業概 要・主な経 費 ※経費内 訳はR5年 度事業費	<p>○東三河地域の人材確保に向け、大都市圏とのマッチングやイベント等により情報発信などを行う。 (委託料、事務費) 51,616,594円</p> <p>○三河山間地域の人材確保・育成に向け、地域の課題を発見し、解決を図るために起業を行う人材の育成などを行う。(委託料、事務費) 83,366,634円</p> <p>○離島地域の人材確保・育成に向け、イベント等出展やSNS等による効果的な情報発信手法の確立などを行う。(委託料) 14,697,980円</p>		
実施体 制	<p>○東三河地域 (株式会社CBCクリエイション、一般社団法人地域問題研究所、株式会社東海日日新聞社に委託)</p> <p>○三河山間地域 (株式会社CBCクリエイション、三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社名古屋、株式会社東海テレビプロダクション、愛知宅建サポート株式会社、特定非営利活動法人100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター、株式会社ジェイアール東日本企画中部支社、株式会社プライズメント、一般社団法人奥三河観光協議会に委託)</p> <p>○離島地域 (株式会社日本旅行愛知法人営業部、株式会社JTB名古屋事業部に委託)</p>		
現況・課 題	<p>本事業の実施によりSNSのフォロワー数の増加等、事業効果が現れているが、継続的に当該地域と関わり続けていく関係人口として定着していくための仕組みが課題である。</p>		
阻害要 因の分 析・今後 の対応	<p>都市部の学生等が地域の課題や魅力等について主体的に考えることで、地域との関わりを継続していくよう、フィールドワークやモニターツアーなど、地域と接する機会を提供していき、関係人口としての定着を図る。</p>		
関連URL	<p>(東三河地域) https://iju-higashimikawa.jp https://www.tonichi.net/kirari2024/ (三河山間地域) https://spdesk.mikawayamazato.jp https://aichi-yamazato.jp (離島地域) https://www.rito.aichi.jp (第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>		




KPI		事業 開始前	R4年度 増加分	R5年度 増加分	R6年度 増加分	R7年度 増加分	R8年度 増加分	累計
コーディネート機能による、東三河の各地域への 訪問回数（回）	計画	0	50	100	100	50	50	350
	実績		75	129	-	-	-	204
起業家支援セミナー参加者数（人）	計画	0	20	20	30	30	30	130
	実績		49	53	-	-	-	102
離島地域（日間賀島、篠島、佐久島）の関 係人口数（人）	計画	2,400	300	300	300	100	100	1,100
	実績		314	370	-	-	-	684
本事業における山間地域関係人口SNSのフォ ロワー数（増加数）（人）	計画	0	150	150	150	150	150	750
	実績		208	372	-	-	-	580

【スタートアップ・エコシステム形成促進プロジェクト】

申請者	愛知県	初回採択 回	令和5年度第1回募集
事業計画 期間	R5-R7年度	R5事業費 (実績)	198,670,068円
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	スタートアップ創出、ユニコーン企業創出を起爆剤とする絶え間ないイノベーション創出を加速させ、日本経済を牽引する国際イノベーション都市づくりを目指していくとともに、地域の産業界、経済界、金融界、大学はじめ研究教育機関、各種支援機関など、全ての関係者、協力者が一丸となって、スタートアップ・エコシステムの形成を目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳 はR5年度事 業費	<p>○ユニコーン企業の創出</p> <p>ユニコーン企業創出に向けたディープテックスタートアップへの総合的な支援(委託料) 130,443,368円</p> <p>○スタートアップ・エコシステムを支える人材の呼び込み・マッチング</p> <p>学生・社会人などの参加者のステージに応じた起業家の発掘、育成プログラムの開催など(委託料) 68,226,700円</p>		
実施体制	<p>○ユニコーン企業の創出(CIC Toranomom合同会社に委託)</p> <p>○スタートアップ・エコシステムを支える人材の呼び込み・マッチング(STATION Ai株式会社に委託)</p>		
現況・課題	<p>○ユニコーン企業の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディープテックの社会実装には時間がかかる。 <p>○スタートアップ・エコシステムを支える人材の呼び込み・マッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップで働くことの機運醸成を継続的に行う必要がある。 ・起業する人材の発掘・育成は継続的に行う必要がある。 		
阻害要因の 分析・今後の 対応	<p>○ユニコーン企業の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単年度の支援ではディープテックの社会実装に至らないため、複数年度に渡って長期的に支援を行う必要がある。 <p>○スタートアップ・エコシステムを支える人材の呼び込み・マッチング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップが生まれる土壌をつくるには時間がかかるため、継続して支援を行う必要がある。 		
関連URL	<p>(ユニコーン企業の創出、スタートアップ・エコシステムを支える人材の呼び込み・マッチング) https://www.aichi-startup.jp/packages/</p> <p>(第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>		

KPI		事業 開始前	R5年度 増加分	R6年度 増加分	R7年度 増加分	累計
本事業により支援したスタートアップの資金調達額（投資、融資、補助金、契約額等）（億円）	計画	0	1	1	1	3
	実績		21	-	-	21
大学生、社会人向けスタートアップ創出プログラムにより起業につながった件数（件）	計画	0	25	45	55	125
	実績		7	-	-	7
人材プールへの登録件数（件）	計画	0	50	50	50	150
	実績		52	-	-	52

【愛知の産業を支える中小企業の企業力強化プロジェクト】

申請者	愛知県	初回採択 回	令和5年度第1回募集
事業計画 期間	R5-R7年度	R5事業費 (実績)	60,717,547円
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	愛知型成長モデルの礎である中小・小規模企業が、経済環境が変化する中でも今後も本県の産業競争力の源泉として成長できるよう総合的な支援を実施することで、愛知型成長モデルの進化を図り、日本経済を牽引する国際イノベーション都市づくりを目指していく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳 はR5年度事 業費	<p>○第4次産業革命への対応として、中小企業等に対する情報セキュリティ診断、改善提案、アドバイザーの設置及びセミナーの開催などを実施する。 (委託料) 29,499,339円</p> <p>○カーボンニュートラルへの対応として、中小企業の脱炭素経営(SBT認定取得)の支援などを実施する。(委託料、事務費) 9,643,300円</p> <p>○飲食事業者の新展開支援として、東三河キッチンカーのWebサイトを活用し、イベント情報の共有などを実施する。(委託料) 3,427,836円</p> <p>○中小企業等の人材確保として、中小企業を対象に採用活動の支援などを実施する。(委託料等) 18,147,072円</p>	  	
実施体制	<p>○第4次産業革命への対応(有限責任監査法人トーマツに委託、自動車サプライヤーオープンイノベーション促進事業は、株式会社eiiconに委託)</p> <p>○カーボンニュートラルへの対応(カーボンニュートラル工場可能性調査事業については、株式会社エノア、株式会社ユニバーサルエネルギー研究所に委託、中小企業脱炭素経営支援事業については株式会社ウェストボックスに委託)</p> <p>○飲食事業者の新展開支援(ヒカリ・レンタル株式会社に委託)</p> <p>○中小企業等の人材確保(株式会社中日NEXTに委託)</p>		
現況・課題	<p>(第4次産業革命)</p> <p>デジタル技術の活用、情報セキュリティ対策に関する相談窓口(アドバイザー)を設置。また、経営者向けにセミナーを開催。</p> <p>本事業の結果、情報セキュリティ対策に課題を抱えている企業が多くあることが判明した。</p> <p>(カーボンニュートラル)</p> <p>国の戦略等では、発電分野や輸送分野に加え、産業分野(製造工場)での水素やアンモニアの活用が重点分野となっており、県内企業等では、産業分野における水素やアンモニアを利用した新たな機器やシステムの検討や開発が進められているが、それらが活用されるか、事業化することができるか把握できていないという課題がある。</p> <p>中小企業の脱炭素経営の推進については、公募・審査により決定した中小企業5社を支援し、令和6年7月末現在で3社が中小企業版SBT認定を取得している。</p> <p>(中小企業の人材確保)</p> <p>中小企業等の人材確保について、人手不足分野企業と求職者とのマッチングを図るイベントは参加者(求職者)の確保が難しい。</p>		

阻害要因の分析・今後の対応	<p>(第4次産業革命) 経営者がリーダーシップを発揮し、まずは「基本方針、対策基準、社内規定の策定」など社内の方向性を定める必要がある。そもそも、経営者が自社がサイバー攻撃に対して知識や危機感が無い場合も多いので、サイバー攻撃の実態や情報セキュリティ対策の重要性を広く周知する。</p> <p>デジタル技術に関する相談の中で、補助金についての関心が高かった。また、セミナーの参加状況等から情報セキュリティ対策についてはあまり関心が高くない傾向が見られた。デジタル技術の活用とセットでセキュリティ対策の重要性について普及、啓発をしていく。</p> <p>(カーボンニュートラル) 本事業の調査結果を広く公表することにより、多くの企業が機器開発の方向性の判断材料とする等の波及効果が期待できる。また、本調査結果を基に、企業等が独自の開発や企業間連携により、事業化に向けた新たな取組の創出が期待できる。中小企業への支援については、令和6年度からは、SBT認定を取得した企業等による報告会を開催することで、SBT認定取得等による中小企業の脱炭素経営の普及を図る。</p> <p>(中小企業の人材確保) 大学や業界団体とも連携しながら、学生と企業双方にとってより参加しやすい日程・方法で開催できるよう調整する。</p>
---------------	---

関連URL	<p>(第4次産業革命への対応) https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-pref-iot/security-diagnosis-result2023.html</p> <p>https://www.pref.aichi.jp/press-release/supplier2023-3.html</p> <p>(カーボンニュートラルへの対応) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/sbt.html</p> <p>(飲食事業者の新展開支援) https://daisukitchencars.com</p> <p>(第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>
-------	---

KPI		事業開始前	R5年度 増加分	R6年度 増加分	R7年度 増加分	累計
本事業における商談数(件)	計画	0	10	10	10	30
	実績		13	-	-	13
本事業によりSBT認定を取得した企業数(企業)	計画	0	5	5	5	15
	実績		3	-	-	3
キッチンカーコミュニティに登録した事業者数(企業)	計画	0	30	20	20	70
	実績		138	-	-	138
採用支援セミナーへの参加企業数(事業者)	計画	0	50	50	50	150
	実績		51	-	-	51

【外国企業誘致促進によるビジネスイノベーション加速化事業】

申請者	愛知県、名古屋市	初回採択 回	令和5年度第1回募集
事業計画 期間	R5-R7年度	R5事業費 (実績)	12,411,958円
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	愛知県、名古屋市、地域の中小企業支援機関及び大学を構成員とする（コンソーシアム）を組織し、外国企業等に対する当地域への進出促進支援を行う。さらに、外国企業と地域企業等のオープンイノベーションを促進するため、当地域の企業や、大学、研究機関とのマッチング等の場を提供することで、当地域の経済力や魅力向上を図っていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳 はR5年度事 業費	<p>○「INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM」において、外国企業等の進出の動機付けから定着支援までの外国企業誘致事業を一気通貫で推進する。 (負担金) 12,411,958円</p>		
実施体制	実施推進主体は、愛知県、名古屋市、名古屋産業振興公社、愛知県立大学ICTテクノポリス研究所及び名古屋市立大学を構成員（R6年度）とする「INVEST IN AICHI-NAGOYA CONSORTIUM」。令和6年度外国企業誘致促進によるビジネスイノベーション加速化事業については、独立行政法人日本貿易振興機構名古屋貿易情報センターに委託。		
現況・課題	令和5年度は4つのKPIのうち3つの指標で計画を上回ったものの、「当事業を通じて愛知県・名古屋市へ進出した外国企業等の進出件数（社）」の実績がない。当事業を通じて愛知県・名古屋市への進出意向が高まった外国企業等が複数社あったものの、実際の進出にはまだ至っていない。		
阻害要因の 分析・今後の 対応	外国企業誘致促進に向け、本事業では、①事業統括マネージャーの配置によるコンソーシアムの運営、セミナーの開催、②進出有望な外国企業等の伴走支援、招へい、③外国企業等と地域企業とのマッチングによるオープンイノベーションの促進、を行っている。外国企業誘致には一定の期間を要するため即座に結果が出ないが、当事業を通じて愛知県・名古屋市への進出意向が高まった外国企業等が複数社あったなど一定の成果が出ているため、上記の取り組みを継続して推進していく。		
関連URL	<p>(外国企業誘致促進によるビジネスイノベーション加速化)</p> <p>https://www.pref.aichi.jp/ricchitsusho/en/</p> <p>https://nagoya-potential.jp/en/</p> <p>(第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>		

KPI		事業 開始前	R5年度 増加分	R6年度 増加分	R7年度 増加分	累計
当事業を通じて愛知県・名古屋市へ進出した外国企業等の進出件数（社）	計画	0	4	4	4	12
	実績		0	-	-	0
当事業を通じて愛知県・名古屋市への進出意向が高まった外国企業等の数（社）	計画	0	4	6	8	18
	実績		6	-	-	6
セミナーや及び商談会への参加者数（人）	計画	0	90	120	150	360
	実績		98	-	-	98
外国企業誘致ウェブページ(県・市)の総閲覧数（件）	計画	0	2,400	3,600	4,800	10,800
	実績		3,775	-	-	3,775

【あいちの農山漁村で育まれた地域資源である伝統野菜を活かした地域活力創出プロジェクト】

申請者	愛知県	初回採択 回	令和5年度第2回募集
事業計画 期間	R5-R7年度	R5事業費 (実績)	4,953,403円
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	地域資源の伝統野菜をブランディングし高付加価値化するとともに、生産者、消費者及び実需者があいちの伝統野菜の魅力を再発見することにより、担い手が将来にわたって意欲的に農業に取り組める環境を創り上げ、新たな価値を生み出し続ける産業へと発展させ、持続可能なまちづくりを創造する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳 はR5年度事 業費	<p>○伝統野菜の特徴、出荷状況、購入可能店舗等の消費者が関心をもつ情報の発信や、技術継承などを行う。(委託料、事務費) 4,953,403円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種子のバックアップ保存体制の整備 ・Webページのリニューアル ・消費者の嗜好傾向・消費動向の把握 	<p>持続可能な産業として発展</p> <p>あいちの伝統野菜</p> <p>消費者の認知度向上</p> <p>産地の継承体制づくり</p>	
実施体制	<p>種子のバックアップ保存体制の整備については愛知県が実施。</p> <p>Webページのリニューアル、消費者の嗜好傾向・消費動向の把握については株式会社CBCクリエイションに委託。</p>		
現況・課題	<p>種子のバックアップ保存体制の整備、Webページのリニューアル等を行った。</p> <p>品目によっては生産者が少なく、栽培技術の継承が困難なものもある。</p>		
阻害要因の 分析・今後の 対応	<p>伝統野菜には知名度が低く、販売が難しいものもあるため、消費者の理解度を高める取組を進めるとともに、栽培、種子保存、更新を行う保存会と連携し、栽培技術の継承を図る。</p>		
関連URL	<p>(あいちの伝統野菜WEBページ) https://www.pref.aichi.jp/engei/dentoyasai/</p> <p>(第三者評価) https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>		

KPI		事業 開始前	R5年度	R6年度	R7年度	累計
			増加分	増加分	増加分	
あいちの伝統野菜生産者数(人)	計画	613	0	31	61	92
	実績		0	-	-	0
事業で実施した講習会の参加者数(人)	計画	0	0	280	420	700
	実績		0	-	-	0
伝統野菜をPRする県WebページのPV数(PV)	計画	0	200	300	500	1,000
	実績		0	-	-	0

【東三河スポーツツーリズム ブランド力強化プロジェクト】

申請者	愛知県ほか 8 自治体※	初回採択 回	令和 5 年度第 1 回募集
事業計画 期間	R5-R7年度	R5事業費 (実績)	23,983,348円
事業タイプ・ 類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>「東三河振興ビジョン2030」において東三河の観光の重点資源と位置付ける、「食」、「花」、「炎」、「美・癒し」、「歴史」といった資源とアウトドアスポーツを融合させ、来訪者のターゲットに応じた誘客促進や、東三河周辺地域との多様かつ広域的なネットワークの構築などにより、広域観光エリアとしての魅力を向上させ、「東三河スポーツツーリズム」のブランドイメージの確立を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳 はR5年度事 業費	<p>○「東三河スポーツツーリズム」のブランドイメージの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルスタンプラリーの開催（委託費） 4,418,000円 ・アウトドアブランドによる情報発信（負担金） 2,350,500円 ・インフルエンサーを起用した情報発信及びイベントの実施（委託費）1,644,000円 <p>○地域資源の高付加価値化・受入体制の更なる強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会会場での地域の魅力発信（委託費等）5,783,000円 ・着地型観光プログラムの創出（委託費等） 1,927,000円 ・地元ガイドの育成（委託費）995,500円 <p>○広域周遊ルート等の受入環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリスト受入拠点施設への備品・看板等の設置（購入費等）718,348円 <p>（他 6,147,000円）</p>		



実施体制	<p>○歴史・文化×東三河スポーツツーリズム推進事業（株式会社ネイチュアエンタープライズに委託）</p> <p>○東三河ブランドの発信（（一社）ほの国東三河観光ビューロー実施事業への負担金拠出）</p> <p>○サイクリングの競技志向の強い層をターゲットにした情報発信（株式会社CBCクリエイションに委託）</p> <p>○ナショナルサイクルルートを活用した発信事業（田原市）</p> <p>○ナショナルサイクルルート周辺の自然環境をいかした体験型観光商品の更なる造成等（株式会社道の駅とよはし、アソビュー株式会社に委託）</p> <p>○道の駅とよはしサイクリスト受入環境整備（株式会社道の駅とよはしが指定管理業務の一環として管理・運営）</p> <p>○スポーツ大会会場の特設ブースでのおもてなしによる地域の魅力発信（（特非）みんなで豊川市をもりあげ隊と協力して実施）</p> <p>○マリンスポーツの普及促進事業（（一社）蒲郡市観光協会に委託）</p> <p>○アウトドアスポーツを用いた着地型観光プログラムの創出（新城スポーツバイク普及促進委員会、一般社団法人ダモンデ、MontjuicLink、株式会社キナンレーシング、愛三工業レーシングチームに委託）</p> <p>○地元ガイドの育成（（一社）東栄町観光まちづくり協会に委託）</p> <p>○広域周遊ルート等の受入環境整備（田原市）</p>
現況・課題	<p>・2023年度事業の「サイクリングの競技志向の強い層をターゲットにした情報発信」においては、自転車ロードレース世界最高峰のワールドツアー参戦の経験を持つ中根英登によるイベントを開催し、福岡県や石川県といった遠方からの競技者を参加者として獲得することができた。また、ターゲット層が多く閲覧する自転車情報サイト「シクロワイアード」や「サイクルスポーツ」といったサイクリング関係のWEB媒体にのべ9回取り上げられ、ターゲット層への効果的な情報発信とサイクリングの適地としてのブランド力強化につながっている。2024年度については、ターゲット層をさらに細分化した上で、それぞれのターゲットに合ったイベントを実施し、サイクリングの適地としてのイメージを定着させていく。</p>
阻害要因の分析・今後の対応	<p>・KPIは順調に推移しているが、地域内のDMOである奥三河観光協議会事務局長へのヒアリングで、アウトドアスポーツの愛好者から東三河がより注目される地域になるためには、サイクリング以外のアウトドアスポーツのコンテンツについても強化し、来訪者の増加・周遊性の向上を図ることが必要との意見を踏まえ、KPIとなっている東三河地域の入込み客数、宿泊者数、道の駅の売上及び東三河スポーツツーリズムウェブページ「Outdoor Route」のアクセス件数の増加させるため、サイクリング以外のアウトドアスポーツの分野においても、新たな体験型観光商品の開発などを進めていく。</p>
関連URL	<p>（東三河スポーツツーリズムウェブページ「Outdoor Route」）</p> <p>https://www.honokuni.or.jp/outdoorroute/</p> <p>（穂っとネット東三河） https://www.higashimikawa.jp/</p> <p>（第三者評価） https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiho-sosei/0000082498.html</p>

KPI		事業 開始前	R5年度 増加分	R6年度 増加分	R7年度 増加分	累計
東三河地域の観光入込客数（千人）	計画	20,935.00	1,900.00	1,901.90	1,901.90	5,703.80
	実績		921.00	-	-	921.00
東三河地域の宿泊者数（千人）	計画	1,626.00	250.00	250.25	250.25	750.50
	実績		83.00	-	-	83.00
東三河地域の道の駅の売上額（百万円）	計画	4,451.00	220.00	220.22	220.22	660.44
	実績		169.00	-	-	169.00
東三河スポーツツーリズムウェブサイト「Outdoor Route」 アクセス件数（件）	計画	40,281.00	1,850.00	2,040.00	2,040.00	5,930.00
	実績		34,879.00	-	-	34,879.00

※愛知県、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村 の広域連携事業